

第2編 子育て支援の環境動向と課題

1. 人口・世帯数の動向
2. 地域産業・就職構造の動向
3. 保育サービス及び子育て支援事業の提供状況と課題

第2編 子育て支援の環境動向と課題

1. 人口・世帯数の動向

(1) 人口動態

(単位：人)

区 分	純増減	自 然 動 態			社 会 動 態		
		自然増減	出 生	死 亡	社会減少	転 入	転 出
平成 13 年度	△ 150	△ 45	51	96	△ 105	329	434
平成 14 年度	△ 118	△ 39	68	107	△ 79	365	444
平成 15 年度	△ 71	△ 9	72	81	△ 62	328	390
平成 16 年度	△ 130	△ 52	57	109	△ 78	324	402
平成 17 年度	△ 122	△ 39	63	102	△ 83	324	407
平成 18 年度	△ 101	△ 38	54	92	△ 63	319	382
平成 19 年度	△ 214	△ 59	42	101	△ 155	265	420
平成 20 年度	△ 148	△ 61	54	115	△ 87	303	390

※住民基本台帳（4月1日～翌年3月31日）

0～9才人口の推移（対象年齢）

(単位：人)

区 分	0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才	7才	8才	9才	合 計	総人口
平成 13 年	49	51	68	67	60	78	73	60	77	71	654	9,420
平成 14 年	50	51	54	68	68	60	77	75	57	76	636	9,269
平成 15 年	62	54	51	55	64	67	61	74	75	58	621	9,150
平成 16 年	71	65	58	54	57	64	68	63	70	76	646	9,079
平成 17 年	52	72	65	58	53	58	62	70	57	67	614	8,948
平成 18 年	61	60	71	66	60	53	60	64	71	57	623	8,908
平成 19 年	56	60	57	70	66	57	50	61	61	72	610	8,726
平成 20 年	42	58	56	54	63	64	59	47	59	58	560	8,517
平成 21 年	55	41	55	55	57	67	63	61	47	57	558	8,368

※住民基本台帳 各年4月1日現在

(2) 世帯数の推移

(単位：人)

区 分	総 数	0～5才	6～11才	12～14才	15～64才	65才以上	世帯数	世帯当たりの人数
昭和 60 年	12,256	815	995	604	8,053	1,789	4,194	2.9
平成 2 年	10,944	635	747	480	7,078	2,004	3,971	2.8
平成 7 年	10,102	467	651	343	6,367	2,274	3,968	2.5
平成 12 年	9,364	469	388	316	5,678	2,513	3,854	2.4
平成 17 年	8,740	383	392	195	5,066	2,704	3,698	2.4

※国勢調査 各年10月1日現在

2. 地域産業・就職構造の動向

(1) 就労状況

年次 区分	平成 7 年		平成 12 年		平成 17 年	
	就業者数	構成割合	就業者数	構成割合	就業者数	構成割合
第 1 次産業	1,123	20.8	931	19.1	848	19.7
第 2 次産業	1,312	24.3	1,100	22.5	751	17.5
第 3 次産業	2,959	54.9	2,850	58.4	2,700	62.8
合 計	5,394 人	100 %	4,881 人	100 %	4,299 人	100 %

※合計には分類不能分も含む

※国勢調査 各年 10 月 1 日現在

(2) 女性の就業率の変化

年次 区分	平成 7 年		平成 12 年		平成 17 年	
	就業者数	構成割合	就業者数	構成割合	就業者数	構成割合
第 1 次産業	429	19.4	360	17.8	330	18.2
第 2 次産業	416	18.9	291	14.4	165	9.1
第 3 次産業	1,360	61.7	1,365	67.6	1,319	72.7
合 計	2,205 人	100 %	2,016 人	100 %	1,814 人	100 %

※合計には分類不能分も含む

※国勢調査 各年 10 月 1 日現在



3. 保育サービス及び子育て支援事業の提供状況と課題

(1) 保育所の状況

本町には認可保育所として町立羽幌保育園があります。

また、離島地区では天売で平成15年4月より運営委員会の自主運営による民間保育所が運営されています。平成16年4月からは、民間非営利法人（NPO法人）運営の家庭保育所も運営を開始しています。

① 名称及び所在地

(町立保育所)

名称	所在地	開設年度	定員	建築年度	床面積
羽幌町立羽幌保育園	羽幌町南2条1丁目16番地	昭和43年度	90人	昭和42年度	388.80㎡

※平成4年4月 築別へき地保育所閉所

※平成8年3月 川北保育園閉所

※平成15年3月 天売・焼尻へき地保育所閉所

(民間運営の保育・託児施設)

名称	所在地	開設年度	運営主体
天売ちびっこランド	羽幌町大字天売字和浦40番地	平成15年度	天売保育運営委員会
家庭保育所 恵留夢	羽幌町南5条4丁目	平成16年度	NPO法人恵留夢

※平成19年3月 やぎしりにこここハウス閉所

② 町立保育所入所児童数の推移

(単位：人)

名称	昭和50年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
町立羽幌保育園	90	48	49	49	55	50	47
天売へき地保育所	29						
焼尻へき地保育所	31						

③ 町立羽幌保育園年齢別入所児童数

(単位：人)

区分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
0歳児	1	2	2	1	3	1	2	3
1歳児	7	6	6(1)	7	2	13	4	6
2歳児	8	7	16(1)	10(1)	13	4	15	6
3歳児	7	10(1)	9	12(4)	12	11	5	17(3)
4歳児	7(1)	7	9(1)	8(1)	12(5)	14	11	4
5歳児	8	7(1)	6	11(2)	7	12(5)	13(6)	11
合計	38(1)	39(2)	48(3)	49(8)	49(5)	55(5)	50(6)	47(3)

※各年4月1日現在 ※()内は障害児内数

※平成16年度以降は羽幌町障害児保育実施要綱(平成16年4月1日施行)による障害児とみなす数

④ 特別保育等の状況

国が示している特別保育には、乳児、障害児、休日、延長（早朝、夜間）深夜、一時保育等があります。羽幌保育園では、保護者の都合を考慮した上で、通常保育時間の延長を実施しています。

また、保健師と連携して、乳児・障害児の発達時期における状態に応じた児童の受け入れを羽幌町障害児保育実施要項に基づき実施しています。

事業名	内容
乳児保育	0歳児受け入れ実施
障害児保育	羽幌町障害児保育実施要綱（平成16年4月施行）により受け入れ
延長保育	（早朝）午前7時45分～午前9時 （夕方）午後5時～午後6時

⑤ 町立羽幌保育園の運営の現状と課題

社会情勢の変化や少子化の進行などにより、保育所の利用率（定員に対する入所者数）が、昭和50年の100%を最大値とし、平成21年には52%と著しい減少となっています。

アンケート調査における親の就労状況では専業主婦(夫)は43%となっており、中でも、就労希望のある母親は80%となっています。また、日常的にお子さんを預かってもらえる人がいる方は33%で、預かってもらえる人がいない方が2/3を占めています。

年齢別でみてみますと、3歳未満の低年齢児は増加傾向にあり、特に近年は、0歳児の入所希望が多くなっています。しかし、年度途中での入所希望者も多く、すぐには入所できない状況も出ています。このように、3歳未満の低年齢児に対する保育ニーズは非常に高いものとなっています。

また、発達時期における個々の児童の状態に応じた保育の実施の観点から、羽幌町障害児保育実施要綱による、個別支援の必要とされる児童の受け入れも増加の傾向にあります。

このようなことから、今後、施設の整備及び定員の見直しを図るとともに保育サービスの充実や運営形態などを検討し、多様化するニーズに対応した保育所運営が必要となっています。

(2) 幼稚園の状況

本町には2つの私立幼稚園が開設されています。町外からの園児を受け入れている園があるほか、保護者のニーズに対応するため、早朝から夕方までの預かり保育や夏、冬休み等長期休み期間の預かり保育を実施しています。

また、両園ともに毎週1回「ちびっこ教室」を開催し、3歳未満の親子を受け入れて遊びや交流の場を提供するとともに子育て相談等も行なっています。

① 名称及び所在地

名 称	所 在 地	設置者	認可定員
ま き 幼 稚 園	羽幌町南4条3丁目40番地	学校法人	135人
羽 幌 藤 幼 稚 園	羽幌町港町3丁目2番地	学校法人	70人

② 在園者数の推移

(単位：人)

区 分		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
ま き 幼 稚 園	3歳児	24	23	37	25	27
	4歳児	26	29	27	41	32
	5歳児	40	26	30	29	44
	合 計	90	78	94	95	103
羽 幌 藤 幼 稚 園	3歳児	10	14	8	14	6
	4歳児	17	13	21	12	22
	5歳児	8	17	13	19	13
	合 計	35	44	42	45	41

※各年5月1日現在

(3) 放課後児童対策事業の状況

本町では、昭和56年より共働き家庭の増加に伴い、日中、保護者のいない子ども達を対象として、家庭的な雰囲気の中で生活指導を行い事故の防止や健全育成を図るため、保護者が中心となって運営する留守家庭児童会（こぐま児童会）の活動を支援しています。

① 名称及び所在地

名 称	所 在 地	定 員
羽幌町留守家庭児童会運営協議会	羽幌町南4条3丁目40番地(まき幼稚園内)	20人

② 入会者の推移

(単位：人)

区 分	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
1年	15	5	20	8	15	14
2年	2	11	3	12	3	11
3年	8	2	7	2	8	2
4年	0	0	0	1	0	1
合 計	25	18	30	23	26	28

※各年4月1日現在

(4) 母子保健事業・子育て支援事業の状況

本町では、健やかな子どもを生ま育てるため、主に「羽幌町すこやか健康センター」を拠点として、次のような事業を行っています。

【妊産婦対象保健事業】

① 母子健康手帳交付

妊娠の届出により母子手帳を交付しています。手帳の交付状況は数年前に比べ、減少傾向にあります。妊婦の年齢層は25歳～29歳、30歳～34歳が中心となっています。

母子手帳申請状況（妊娠週別）

（単位：人）

区 分	4～7週	8～11週	12～15週	16～19週	20～23週	24～27週	28週 以上	不明	合計
平成19年度	3	39	8	0	0	0	0	1	51
平成20年度	1	45	7	1	0	0	0	0	54

母子手帳申請状況（妊娠年齢別）

区 分	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	合 計
平成19年度	1	10	18	12	8	2	51
平成20年度	1	6	19	23	4	1	54

② 妊婦一般健康診査

全妊娠期間中に妊婦健康診査受診券を14回発行し、健康な妊娠期を過ごすことができるように支援しています。

③ 妊婦保健指導

母子健康手帳交付時に保健師が面接し、簡単なアンケートを通して体調確認などを行っています。また、第1子の母には栄養士による訪問も実施しています。すこやか健康センターを相談窓口として周知し、妊娠中の健康や出産に関する悩みに対応しています。

【乳幼児対象保健事業】

① 新生児訪問

本町で生まれた全新生児に対し、保健師による新生児訪問を行っています。育児の不安や悩みに早期に対応することで、自信をもって育児を実践することができるようにサポートしています。

保健師による新生児訪問件数

（単位：件）

子どもの日齢	28日以下	29日～2ヶ月	2～3ヶ月	3ヶ月以上	合 計
平成20年度	24	23	7	0	54

② 股関節脱臼健診

生後3～4ヶ月児を対象に診察、レントゲン撮影による先天性股関節脱臼の検査を行っています。 場所：北海道立羽幌病院整形外科

③ 乳幼児健診

乳幼児が健全に発育・発達し、育児者が自信をもって育児に取り組むことができるよう、発育発達支援と育児不安の軽減を図るため内科検診、歯科検診、歯科指導、栄養指導、保健指導を行っています。乳幼児健診の受診率は年度により増減はあるものの全体的に横ばいから増加傾向にあります。

乳幼児健診実施状況

(単位：人)

	4ヶ月児			9ヶ月児			1歳6ヶ月児			3歳児		
	対象者数	受診者数	率	対象者数	受診者数	率	対象者数	受診者数	率	対象者数	受診者数	率
H16	53	51	96.2%	68	62	91.2%	78	71	91.0%	66	61	92.4%
H17	74	69	93.2%	63	61	96.8%	56	58	103.6%	66	58	87.9%
H18	53	52	98.1%	57	55	96.5%	75	69	92.0%	65	58	89.2%
H19	48	47	97.9%	57	56	98.2%	49	41	83.7%	54	52	96.3%
H20	48	45	93.8%	42	42	100.0%	51	52	102.0%	57	58	101.8%

※受診者には、前回の健診対象者も含む

④ 乳幼児歯科保健対策

本町は管内状況と比較して、むし歯保有率が高い状況が続いていたため、乳児期からむし歯予防に関心を持ってもらうため、乳児健診等で4ヶ月児から保健師による歯科指導を行い意識啓発を行ってきました。1歳6ヶ月児健診・3歳児健診においては、歯科検診・フッ素塗布・歯科衛生士による歯科指導を実施しています。

フッ素塗布事業では、今まで年4回健康センターで集団塗布を実施していましたが、平成19年度より対象範囲を1歳～未就学児とし、町が委託する歯科医院にて個別で受診できるようにしました。今後も、受診しやすい体制をつくり、健康な歯づくりの推進を行っていきます。

むし歯保有率の推移

(単位：人)

	1歳6ヶ月児健診			3歳児健診			フッ素塗布					
	受診数	う歯保有者数	率	受診数	う歯保有者数	率	対象数	受診数	率	う歯保有者数	率	
H16	78	71	91.0%	62	61	98.4%	240	119	49.6%	30	25.2%	
H17	56	58	103.6%	66	58	87.9%	214	131	61.2%	27	20.6%	
H18	76	70	92.1%	65	55	84.6%	260	164	63.1%	38	23.2%	
H19	49	41	83.7%	54	48	88.9%	1013	387	38.2%	136	35.1%	
H20	51	49	96.1%	57	57	100.0%	1019	287	28.2%	116	40.4%	

⑤ 予防接種

子どもを疾病から守り、伝染病の流行を防ぐために予防接種を行っています。

(予防接種内容)

三種混合 : 生後 3ヶ月～90ヶ月

ポリオ : 生後 3ヶ月～90ヶ月

麻疹 : 生後12ヶ月～90ヶ月

風疹 : 生後12ヶ月～90ヶ月

ツ反・BCG : 生後 3ヶ月～90ヶ月

⑥ 離島地区母子保健事業

天売・焼尻地区においては、天候等の理由により市街地区での母子保健事業に参加できないことが多いため、天売島で年2回乳幼児健康相談を行っています。焼尻島は、対象児の人数によって実施しています。

【子育て支援事業】

① 乳幼児相談（あいあいサークル）

乳児期にある親子の外出の機会や仲間づくりをねらい、月2回開催。遊びや座談会などを行いながら、親子の交流と育児の気分転換の場として毎回15組前後の参加が見られます。

② 育児教室（小苺くらぶ・苺くらぶ）

遊びを通して親子が楽しくふれあうことを目的とし、1歳6ヶ月児から3歳児を対象に育児教室を開催しています。毎回おおむね10組前後の参加状況となっています。教室では、遊びを主体としながらも、子どもの体づくりや、対人関係の基盤づくりを狙った設定や、栄養士による手作りおやつ提供等も行っています。また随時育児に関する相談も行っています。

③ 離島育児教室（野いちごクラブ）

平成13年度より、天売、焼尻地区の乳幼児を対象に育児教室（野いちごクラブ）を開催し、親子でふれあいながら交流することを目的に実施しています。



(5) 早期療育事業の状況

乳幼児期や学童期における発達過程の中で、個別の関わりが必要と思われるお子さんを対象に、専門的な療育指導を留萌中部地域発達支援センターで行っています。

個別や小集団での遊びを通して、個々の持っている力を伸ばす関わりをもつとともに、親子のふれあいを深め、自信をもって育児ができるように支援しています。

幼稚園や保育所の障害児保育との連携を図り、質の高い療育の提供が求められています。

発達支援センター事業の状況

区 分	利用実児童数
平成 16 年度	4 6 人
平成 17 年度	5 3 人
平成 18 年度	6 9 人
平成 19 年度	6 9 人
平成 20 年度	5 1 人

(6) 相談事業の状況

育児、子育てに関する相談事業としては、羽幌保育園で子育て電話相談事業を実施しているほか、すこやか健康センターで保健師による相談事業も実施しています。

電話や来庁による相談、または乳幼児健診等での相談が主となっています。電話や来庁による相談は少なく、相談内容も予防接種等の事業に関する相談がほとんどであり、育児に関する相談は乳幼児健診時が最も多くなっています。

健診時は、育児に関するアンケートを実施しており、相談時に活用するだけでなく、今後の母子保健事業を考えるにあたり、最近の育児不安の傾向などを知る資料としても活用しています。

(7) 児童委員の活動状況

本町では厚生労働大臣からの委嘱を受けた民生委員児童委員 35 名が活動しています。方面区や町内会をベースに町内の全域を 33 の地域に分け、各地域に担当の民生委員児童委員が配置され、また 2 名は主任児童委員として、町内全域にわたる活動をしています。委員の構成割合として男女別では女性が 5 分の 2 を占め、年齢層は 60 代が最も多い状態となっています。

活動状況は、地域福祉・在宅福祉に係る相談・情報提供や指導が中心ですが、近年は特に児童虐待防止等に係る活動も増えてきています。

また、協議会に児童部会を置き、「声かけおじさん・おばさん」運動や小中学校との懇談会を定期的に行っています。

(8) 人口推計と少子化の動向

羽幌町の人口推移はすでに人口、世帯数の動向で示したとおり、総人口で減少傾向にあります。0～9歳の低年齢人口も平成17年の639人から推計による平成27年には523人に減少しており、今後も続くものと考えられます。

推計人口（年齢階層別） 各年10月1日現在（単位：人）

区 分	平成17年度	平成22年度	平成27年度
総 数	8,740	8,062	7,359
0～4才	335	283	258
5～9才	304	311	265
10～19才	653	500	472
20～29才	706	594	457
30～39才	893	827	727
40～49才	957	852	826
50～59才	1,479	1,192	902
60～69才	1,405	1,385	1,321
70～79才	1,272	1,215	1,140
80～89才	609	752	781
90才以上	127	151	210

推計人口（小学校就学前児童人口） 各年4月1日現在（単位：人）

区 分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
平成22年	59	52	61	53	63	54	342
平成23年	56	52	61	51	63	54	337
平成24年	54	50	59	49	61	52	325
平成25年	54	50	58	49	61	50	322
平成26年	52	50	57	49	60	48	316

推計人口（小学生児童人口） 各年4月1日現在（単位：人）

区 分	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	計
平成22年	63	68	62	63	52	57	365
平成23年	62	67	63	63	51	55	361
平成24年	60	65	61	61	52	55	354
平成25年	58	63	59	59	52	56	347
平成26年	56	61	57	57	52	56	339

※ 国勢調査における人口をもとに、過去の国勢調査との比較による増減を調整したコーホート方式により算出された予想値（地域行動計画策定指針推計ワークシートにより算出）